

沈黙の艦隊

2023.12.17

9月下旬に「沈黙の艦隊」という映画が公開となった。すぐに映画館に行った。1988～1996年に連載された名作コミックの映画化である。その昔、毎週、この漫画を読んでいたわけではない。だが、時折、読んでいたため、ストーリーはわかっていた。あの当時は、その内容に衝撃を受けながらも、興味をもって読んでいた。

実写化不可能とされていた漫画である。主人公の海江田四郎艦長を大沢たかおさんが演じる。大沢さんと言えば、映画「キングダム」の王騎将軍である。独特のキャラクターだが、見事に演じている。今度は、潜水艦の艦長である。全く違った役どころである。これもまた見事である。

海江田艦長の対役とも言える深町洋艦長を玉木宏さんが演じている。玉木さんと言えば、「キングダム」では、秦軍の総司令官を務める軍師、昌平君である。こちらも、全く違うキャラクターである。

まだある。「キングダム」の主人公である信を演じるのは山崎賢人さんである。この山崎さんが、年が明けて1月19日に公開される映画「ゴールデンカムイ」の主人公を演じるという。意外である。だが、きっと見事に演じるのだろう。また、軍師、昌平君であり、深町艦長である玉木さんは、「ゴールデンカムイ」でも重要な役どころを演じている。

どうして、こんなにも話題作の配役が重なるのだろうか。偶然ということはないだろう。いい俳優さんに演じてほしいからなのだろうか。出演作がヒットすればするほど俳優さんにとっては、その役のイメージが強くなる。その印象は、なかなかとれるものではない。次の出演作がむずかしいのではないかと心配になる。

ところが、前述の俳優さんたちは、全く関係ないようである。前作のイメージが浮かんでこない。さすがは、プロの俳優である。とはいっても、山崎賢人さんは、どうなのだろう。これからも「キングダム」の続編が続く。「ゴールデンカムイ」もある。本人にとって、両方を演じるのはどうなのだろう。幅が広がるということだろうか。

この前、近所のお蕎麦屋さんに行った。何年もの間、ずっと気になっているお店だった。ようやく、行ってみた。美味しかった。道理で、常連さんが次から次へとやってくる。しばらくして、また行こうということで出かけた。

待ち時間があり、ふと漫画本のコーナーに目をやると、「沈黙の艦隊」のコミック本が並んでいるのではないか。かなり年季の入ったものだった。すぐに、手に取った。映画で見た先のところから読み始めた。映画館では、上映が終了すると、館内から小さなどよめきが起こった。「えっ、ここで終わるの」という反応だった。私もそう思った。もう続編が約束されているかのような感じだった。次の続編までに、お蕎麦屋さんに通って予習をしなければならない。楽しみが増えた。